

日本・モンゴル国交関係樹立 50 周年記念事業

国際バレエアカデミア公演

International Ballet Academia

「ジゼル」第2幕

出演

ジゼル／金子 綾
アルプレヒト／ムンヘジン・ウルジージャルガル
ヒラリオン／ダウドルチ・オユン

1953 年東宝主催で日劇 13 回、宝塚劇場 3 回と日本初演ロングラン公演。以来引継いで 8 年ぶりの上演



© Koji Iida

「モンゴル賛歌」

出演

アルタンフヤグ・ドゥガラー、蛭川 騰子 他

ーモンゴルからの雄大で爽やかな風ー



© Koji Iida

2022 (R4) 8.25 (木) | 開場／18:00
開演／18:30

会場／新宿文化センター 大ホール

● 入場券 (全席指定) ● S席: 8,000 円 (税込) A席: 6,000 円 (税込) B席: 4,000 円 (税込)

チケットの予約・お問い合わせ

チケット

国際バレエアカデミア

<http://www.academia-ballet.jp>

e-mail: info@academia-ballet.jp

TEL: 03-3377-7764



<プレイガイド>

◆ 博品館 1F TICKET PARK 03-3571-1003

◆ チケットぴあ

<https://w.pia.jp/t/academia-ballet/>

◆ e+(イープラス)

https://eplus.jp/academia_ballet/

総 監 督: 森山 直美

芸 術 監 督: アルタンフヤグ・ドゥガラー

バレエマスター: ビャンバ・バットボルド

協 力: モンゴル国立バレエ団

後 援: 外務省、モンゴル国外務省

駐日モンゴル大使館

制

作: 国際バレエアカデミア事業部

主

催: 特定非営利活動法人 国際バレエアカデミア

International Ballet Academia Company

国際バレエアカデミアバレエ団公演

ジゼル 第2幕

Giselle

アダマン曲、コラリによる

振付：森山直美

補佐：ビャンバ・バットボルト

1953年日本初演。当時の世界的プリマ、ノラ・ケイをニューヨークシティバレエ団より招聘し、ポール・シラード振付により、東宝主催、日劇で13回、宝塚劇場で3回、連日満員のロングラン公演、絶賛を博しました作品です。

モンゴル国立バレエ団プリンシパル、ムンヘジン・ウルジージャルガル、ダワドルチ・オユンを招聘し、交流公演は見応えのある舞台をお届けできると存じます。

モンゴル賛歌

Mongolia poem

監修・振付：アルタンフヤグ・ドゥガラー

補佐：ビャンバ・バットボルト

本年2022年（令和4年）は日本・モンゴル外交関係樹立50周年です。モンゴル・バレエの根底にはロシア・バレエの流れを汲む厳格なる舞踊教育があり、民主化以降多くのダンサーが世界的に活躍しています。モンゴル国立バレエ団とは半世紀にわたって交流を深め、2000年代に入ってから我が国の政治・経済・外交においても年々大きな位置を占めるモンゴルとの国際交流を重点的に行ってまいりました。

このたびの両国の外交関係50周年記念を飾る本公演では”モンゴル・バレエの至宝”アルタンフヤグ・ドゥガラーの監修によりモンゴルの風土や文化へのオマージュを捧げます。



アルタンフヤグ
ドゥガラー
(モンゴルの至宝)



ムンヘジン
ウルジージャルガル
(モンゴル国立バレエ団)



ダワドルチ
オユン
(モンゴル国立バレエ団)



森山 直美



金子 綾



蛭川 騰子



水谷 彩乃



嶺岸 葵



© Koji Iida

2015年6月26日 新宿文化センター スターガラ 2015

出演者

Cast

スタッフ

Stuff

金子 綾	中村 うらら	磯垣 奈々	アルタンフヤグ・ドゥガラー
蛭川 騰子	野崎 紗依	松岡 愛	ムンヘジン・ウルジージャルガル
水谷 彩乃	間地 桃香	中山 理子	ダワドルチ・オユン
嶺岸 葵	山本 風音	伊藤 紗	徳永 太一
西村 美紀	小野 結花	佐野 真里花	篠崎 祐大
伊藤 里紗	田宮 梨理	日比野 理琳 他	松田 耕平
中尾 優妙	安達 茉那	森山 直美	志鎌 優成 他
白倉 友梨佳	田口 梨紗		

舞台監督：近藤 悦男
照 明：吉田 信（有限会社ハロ）
音 響：佐藤 利彦（koenji-studio）
衣 裳：逸見 美智子
舞台美術：ユニ・ワークショップ
写真撮影：飯田 耕治
制作協力：銀座博品館劇場
モンゴル国立オペラ劇場

出演者・演目は変更になる場合があります。4歳未満のお子様のご入場はご遠慮ください。

お客様へのお願い

国際バレエアカデミアでは皆様に安心して鑑賞いただけるよう、新型コロナウイルス感染防止対策を実施しております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします



劇場内では必ずマスクの着用をお願いいたします。発熱および体調不良の際はご来場をお控え下さい。